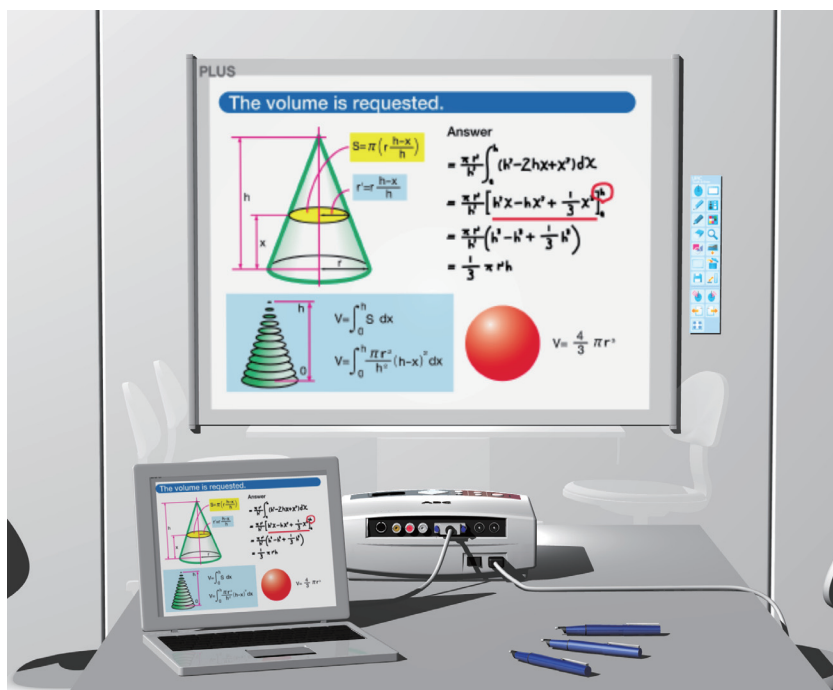


PLUS

ワイヤレス インタラクティブ パネル UPIC-56M/UPIC-64M/UPIC-W72M/ UPIC-W72MC

取扱説明書



このたびは、「PLUS ワイヤレス インタラクティブ パネル」をご購入いただき誠にありがとうございました。

製品の機能を十分にご活用いただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。なお、お読みになった後も必ず保管してください。

本書は下記製品のワイヤレスインタラクティブパネルの共通取扱説明書で、デジタルペン、パネル、ソフトウェアからなります。

製品型名：UPIC-56M, UPIC-64M, UPIC-W72M…Mタイプ(マグネット型パネル)
(説明書では M タイプと表記します)

製品型名：UPIC-W72MC…MC タイプ (ケース付マグネット型パネル)
(説明書では MC タイプと表記します)

※ 56, 64, W72 はパネルサイズの呼び名です。

M タイプと MC タイプはパネルの設置方法が異なります。お買い求めのタイプの説明項目をご覧ください。

本製品のソフトウェアはWindows 8 (64bit)、Windows 7 (32bit/64bit)、Windows Vista (32bit/64bit)およびWindows XP SP3以上 (32bit)対応に対応しています。他のOSでは動作しません。

ご注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。 この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCC1-B

クラス 1 LED 製品

商標について

- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- Anoto® は Anoto Group AB の登録商標です。
- Bluetooth、Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。その他、記載されている商品名、会社名は、各社の登録商標、または、商標です。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では (3) 項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

●はじめに	
安全上のご注意	4
製品の梱包内容	7
パネルの名称とはたらき	9
●ワイヤレスインタラクティブパネルを使うための準備	
ワイヤレスインタラクティブパネルを使う前の準備／終了の流れ	10
M タイプのパネル設置	11
パネルの取り付け方	11
パネルの収納	12
MC タイプのパネル設置	13
パネルの取り付け方	13
パネルの取り外し	14
ソフトウェアのインストール	15
インストールの前に	15
動作環境	15
付属のソフトウェアについて	15
ソフトウェアの更新について	15
付属ソフトウェアのインストール	16
付属ソフトウェアのアンインストール	19
デジタルペンとパソコンとのペアリング	20
Windows 8 での登録	20
Windows Vista、Windows 7 での登録	21
プロジェクタ投影画面の位置調整	24
デジタルペンのマウス動作	24
●UPIC ユーティリティを使う	
UPIC ユーティリティの使い方	25
ポップアップメニューを表示する	25
ポップアップメニュー各部の名称とはたらき	25
プロジェクタとの位置合わせ	28
VLP を使う	29
UPIC Touch&Draw の起動／終了	30
UPIC Touch&Draw の起動	30
UPIC Touch&Draw の各部の名称	31
UPIC Touch&Draw の終了	34
UPIC Touch&Draw 基本の使い方	35
●付録	
こんなときには	38
仕様	39
テクニカルサポート	40
アフターサービスについて	41

安全上のご注意《必ずお守りください》

ご使用の前に

絵表示について

本機に付属している説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- ・本システムで使用するプロジェクタ、パソコンおよびパソコンに接続する Bluetooth USB アダプタの安全上のご注意は各々の取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の意味

表示例



この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



感電注意



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



分解禁止



この記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く



注意

【パネル】



本体パネルに磁性記録媒体を近付けない（M タイプ / MC タイプ）

M タイプと MC タイプのパネルには磁気層を張り合わせており、また、四隅には磁石が埋め込まれています。キャッシュカード、定期券、フロッピーディスク、ビデオテープ、カセットテープ等の磁性記録媒体をパネル面および押さえバーやケースに近付けしないでください。約 10cm 以内に近付けると記録データを破損する恐れがあります。



プロジェクタについて

本システムはプロジェクタを用いて画像を投影します。プレゼンテーションなどを行う場合、プロジェクタの光が目に入ることがあります。プロジェクタの光を直視すると目を痛める原因となりますので、十分にご注意ください。



スクリーンを広げた直後には、剥がれないことを確認する (M タイプ /MC タイプ)
低温状態のスクリーンは特に強い巻き癖が残るため、スクリーンを広げた直後はホワイトボード板面などから剥がれ落下することがあります。スクリーンを広げた直後は、ホワイトボード板面などから剥がれないことを確認してください。
巻癖が強いときは付属のマグネットバーをご使用ください。詳しくは 14 ページ参照ください。



パネルを使用するときは、付属の安全フックを取り付ける (MC タイプ)
ケースはケース背面に取り付けている磁石によりホワイトボード板面などに貼り付きますが、強い衝撃や振動が加わると落下する可能性があります。パネルを使用するときは、付属の安全フックを取り付けてください。



本体パネルのふちを手で触れない
パネルを設置・収納する場合は、パネルのふちで手を切らないよう、ご注意ください。

【その他】



付属の CD-ROM をオーディオ用 CD プレーヤーで使用しない
付属の CD-ROM をオーディオ用 CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量により耳に傷害を与える恐れがあります。また、スピーカを破損する恐れもあります。

お願い

【パネル】

設置場所について

次の場所には設置しないでください。パネルが変形して本来の機能が発揮できなくなります。

- ・直射日光が当たるような暑い場所
- ・エアコンの風が直接当たる場所。
- ・熱器具やストーブの近く。
- ・油煙や湿気の当たるような場所（調理台や加湿器のそば等）。

パネルを傷つけない

パネルを鋭利なもの、硬いものでたたいたり、突き刺したりしないでください。また、パネルを折り曲げたり、しわが付いたまま巻き付けしないでください。デジタルペンで読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。

パネルは薬品で拭かない

パネル表面を、シンナー、ベンジン、アルコール等で拭かないでください。変色したり、パネルを傷めデジタルペンでの読み取りができなくなったり、誤動作の恐れがあります。

ホワイトボードマーカーを使用するとき (M タイプ /MC タイプ)

必ず当社製の専用マーカーと専用イレーサーを使用してください。その他のマーカーやイレーサーを使用したり、直接手でこすったりするとパネルを傷つけたり、パネルが汚れインクが消えなくなることがあります。

マーカーは必ず、横向きにして保管してください。消えにくくなる場合があります。

ホワイトボードマーカーで直接パネルに描いた文字等を長時間放置しない (M タイプ /MC タイプ)
消えにくくなる場合があります。

パネルに粘着テープ等を貼らない

デジタルペンでの入力時に読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。

【その他】

USB ハブで Bluetooth USB アダプタは使用しないでください

パソコンに USB ハブをご使用の場合は、動作の保証をいたしかねます。

CD-ROM の取り扱い

ラベルが印刷されていない面（データ記録面）には触れないでください。記録面が汚れると正常にデータが読み取れなくなります。また CD-ROM に紙やシールなどを貼らないでください。長時間直射日光の当たる所や暖房機器の近くに置いたり、落としたり、曲げたりしないでください。CD-ROM が変形しデータが読み取れなくなります。

お手入れについて

パネルには座標検出用のドットが印刷されています。パネル表面が汚れるとデジタルペンでの入力時に読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。

次のお手入れを定期的に行ってください。

パネルの清掃

- パネルが汚れたときは、よく絞った布で水拭きしてください。清掃後パネルが完全に乾いてからお使いください。
汚れのひどいイレーサーや、ウェットティッシュ、OA クリーナー、中性洗剤等は使用しないでください。
- パネル表面の清掃はボード面（壁面）に取り付けた状態で行ってください。床に置いて清掃すると床のほこりやゴミがパネル裏面の磁気層に付着して取り付け面との密着力が低下し落下しやすくなります。パネル裏面の清掃は押さえバーに少しずつ巻き取りながらゴミやほこりを取り除いてください。このとき、しわにならないように巻き取ってください。（M タイプ）

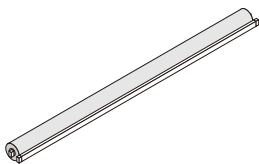
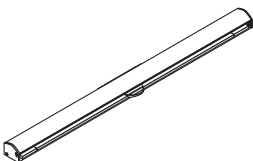
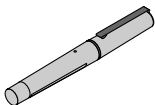
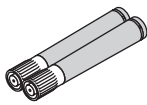
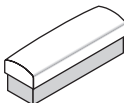
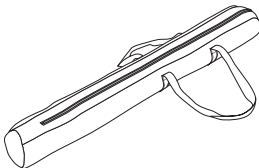
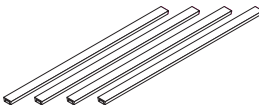
イレーサーについて（M タイプ / MC タイプ）

イレーサーの消去面が汚れたら、新しいイレーサーをご購入ください。

イレーサーを汚れたまま使用しますとパネル面が汚くなり、パネルの汚れが取りにくくなります。

製品の梱包内容

梱包内容はこちらの製品タイプ（M、MCタイプ）によって異なります。

梱包品名	Mタイプ	MCタイプ
本体パネル：1 ユニット 座標が印刷されたシート型パネルです。 M タイプ：丸めて保管や持ち運びができます。 	○	—
MCタイプ：自動巻取り方式のシート形パネルです。素早い設置や収納ができます。 	—	○
安全フック：1個（ネジ付き） パネルユニット落下防止に使用します。 （MCタイプ） 	—	○
デジタルペン（型名 DP-301）：1 セット （予備スタイラス：1 本、単 4 アルカリ乾電池：1 本） 	○	○
専用マーカー（黒・赤：各 1 本） 本システムをホワイトボードとして使う場合、この専用マーカー（インク）でパネルに直接描画します。 	○	○
イレーサー：1 個 ホワイトボードに専用マーカー（インク）で直接描いた描画を消すときに使用します。 	○	○
専用キャリングケース：1 個 本体パネル、付属品を収納して 持ち運ぶことができます。 ※本体パネルは、必ず紙管（紙筒）に入れて保管してください。（M タイプ） 	○	—
補強用マグネットバー： パネルの巻き癖が残り、押さえバーが浮き上がる場合や、パネルが浮き上がる場合にパネルの上下にマグネットバーを貼り付けてください。 	4本	6本
取扱説明書：1 冊 安全に使用するために守っていただきたいこと、本製品の主な使いかたが書かれています。 	○	○

次ページに続く

梱包品名	Mタイプ	MCタイプ
デジタルペン取扱説明書：1部 安全に使用するために守っていただきたいこと、乾電池の入れかたなどが書かれています。	○	○
CD-ROM：1枚 ソフトウェア一式が収録されています。	○	○
保証書：1枚	○	○
FAX 登録用紙：1枚	○	○

安全フックの取り付け方（MCタイプ）

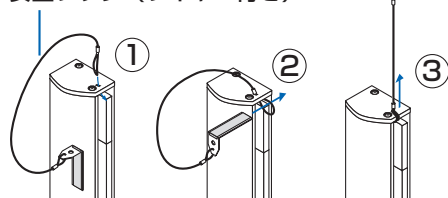
MCタイプのみ安全フックを付属しています。ケースのフック取り付け穴は下にもあります。上向きの穴に安全フックを取り付けてください。

1. 安全フックをケースに取り付ける

フック取り付け穴に安全フックのワイヤーを通します。

- ・ワイヤーがケースにしっかり取り付けられていることを確認してください。

安全フック（ワイヤー付き）

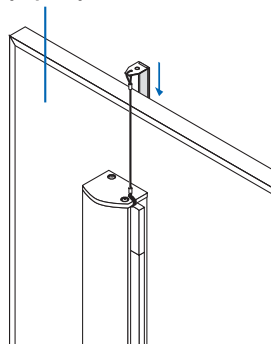


2. 安全フックをホワイトボードに取り付ける

ホワイトボード上面と壁面の間にあるスキ間に安全フックを差し込みます。

- ・ワイヤーを引っ張って、安全フックがセットされていることを確認してください。

ホワイトボード



ホワイトボードのタイプによっては、スキ間が無い場合やスキ間に安全フックが入らない、あるいはゆるい場合があります。このような場合は、付属のネジで安全フックをホワイトボード端部にネジ止めしてください。

パネルの名称とはたらき

ドットパターンの座標が印刷されているパネルです。デジタルペンを使って描画します。プロジェクタを投影するスクリーンとしても使います。

M タイプ

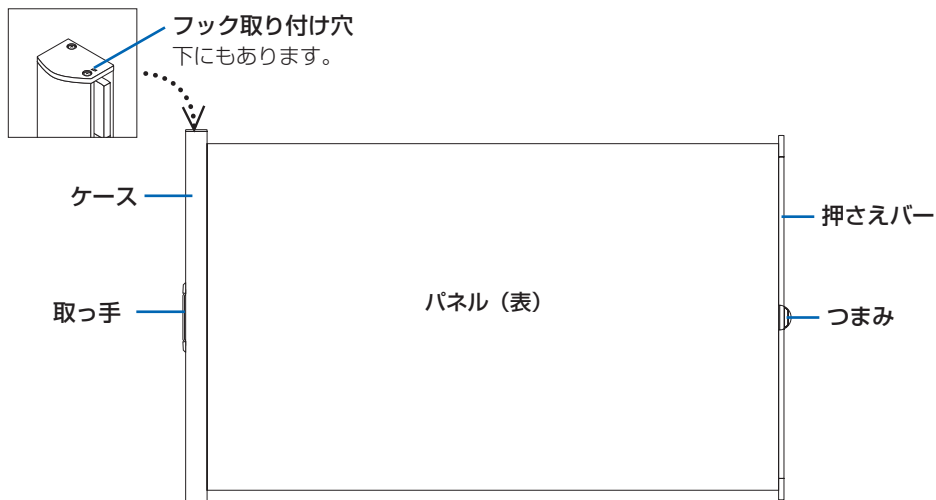


パネル (裏)

裏全面が磁気層のシート構造になっており、市販のホワイトボード（スチール製）および平滑面のスチール製パネルに取り付けます。

※平滑面とは細かな凹凸がない平らな面をいいます。

MC タイプ



パネル (裏)

裏全面が磁気層のシート構造になっており、市販のホワイトボード（スチール製）および平滑面のスチール製パネルに取り付けます。また、ケースの裏面にも磁石を貼り付けています。

※平滑面とは細かな凹凸がない平らな面をいいます。

ワイヤレスインタラクティブパネルを使う前の準備／終了の流れ

お知らせ

- ・ 1.2 の手続きが終わっているパソコンをご使用の場合は、手順 3 から準備してください。

1 付属の CD-ROM 内のソフトウェアをパソコンにインストールする。 (15 ページ参照)

2 パソコンにデジタルペンを認識させる（ペアリング）。(20 ページ参照)

※パソコンに Bluetooth が搭載されていない場合は、市販の Bluetooth USB アダプタが必要です。

※複数本のデジタルペンを使う場合は、全てのデジタルペンをパソコンとペアリングしてください。

3 パネルを設置する。

M タイプのパネル (11 ページ参照)

MC タイプのパネル (13 ページ参照)

4 プロジェクタ投影画面をパネルに合わせる。(24 ページ参照)

5 パソコンとプロジェクタの位置合わせをする。(28 ページ参照)

6 UPIC Touch&Draw を起動する。(30 ページ参照)

これで、ワイヤレスインタラクティブパネルが使える状態になります。

使い終わったら

1. 本ソフトを終了する。(34 ページ参照)
2. デジタルペンにキャップをする。
デジタルペンの電源が切れます。
3. ワイヤレスインタラクティブパネルを収納する。(12, 14 ページ参照)

M タイプのパネル設置

M タイプのパネルの裏面は磁気層でいつでも付け替えできます。力を加えてもたわまない金属面に取り付けてください。下記は参考例です。

- ・ ホワイトボード（スチール製）
- ・ スチール壁やスチール製パネル

パネルの取り付け方

ホワイトボード（スチール製）を例に説明します。
2 人で行くと正しく取り付けることができます。

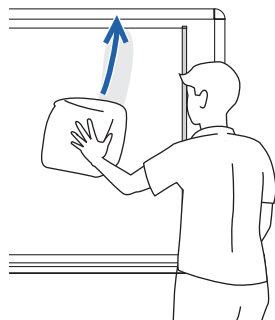
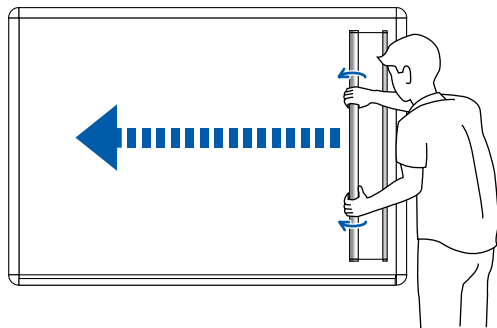
1. 板面を掃除する

パネルを取り付ける前にホワイトボード板面をきれいにふき掃除をしてください。板面にゴミやセロハンテープなどの取り残しがあるとパネル面に凹凸が生じます。水拭きした場合は乾燥するまでお待ちください。

2. 板面にパネルを水平に貼り付ける

巻き取っている状態のまま、ホワイトボードのフレーム（左または右辺）に正確に合わせてパネルの端面を密着させます。

そのまま、押さえバーを巻戻しながら左または右へ水平に（空気を抜きながら）貼り付けていきます。貼り付けた後に空気が入っている場合は、布などで静かに掃き出してください。



ご注意

- ・ パネルがはがれないことを確認してください。
- ・ 貼り直す場合は、押さえバーに巻き取ってからやり直してください。
- ・ 収納ケースに長期間保管した後すぐにお使いになる際は、パネルに巻き癖が残り押さえバーが浮き上がることがあります。

このときは、補強用マグネットバー（付属品：4 本）をご使用ください。

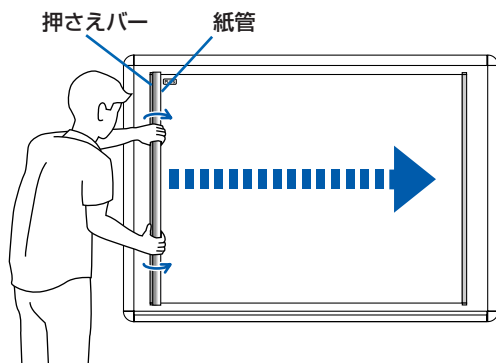
※使用方法は別紙の「補強用マグネットバーの使い方」をご覧ください。

パネルの収納

収納の前にパネル表面をきれいに清掃してください。巻き取り時にパネル裏面にほこりやごみなどが付着して、密着力が低下する場合があります。

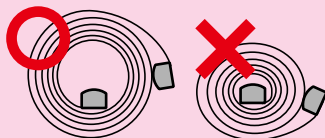
1. パネルを巻き取ります。

梱包時に使用されている紙管に押えバーを巻き付け、押えバーをボード面に押し付けながら巻きゆるみや斜め巻きが発生しないように巻き込みます。



ご注意

- ・最後までボード面に押し付ける力を弱めないでください。途中で手を放すとパネルが落下します。
- ・巻き付けるときはゆるく巻いてください。きつく巻くとパネル面に折れ目が付いたり、巻きぐせが取れにくくなります。



【正】

【誤】

- ・押えバーに巻き取ったまま無理に斜め巻きを修正すると、パネルを傷つける恐れがあります。このときは再度パネルを広げてから巻き直してください。
- ・パネルを広げたまま板面から取り外さないでください。パネルが折れ曲がり、デジタルペンで読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。
- ・パネルのふちに触れる場合は、手を切らないよう、ご注意ください。

MC タイプのパネル設置

MC タイプのケースとパネルの裏面は磁気層で、いつでも付け替えます。力を加えてもたわまない金属面に取り付けてください。下記は参考例です。

- ・ ホワイトボード（スチール製）
- ・ スチール壁やスチール製パネル

パネルの取り付け方

ホワイトボード（スチール製）を例に説明します。

2 人で行うと正しく取り付けることができます。

落下防止のため付属の安全フックを取り付けてください。（8 ページ参照）

1. 板面を掃除する

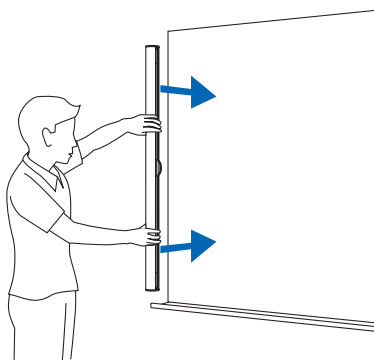
パネルを取り付ける前にホワイトボード板面をきれいにふき掃除をしてください。板面にゴミやセロハンテープなどの取り残しがあるとパネル面に凹凸が生じます。水拭きした場合は乾燥するまでお待ちください。

2. ケースを固定する

ケースを両手でしっかりつかみ、ホワイトボードに磁着させます。

ご注意

貼り付け時、不用意に手を離すとケースが落下しけがの原因となります。



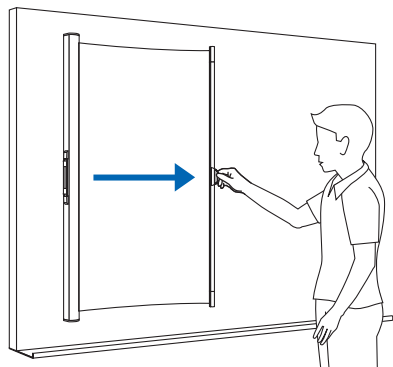
3. パネルを引き出す

中央のつまみをしっかり握り、スクリーンをホワイトボード板面から離し手前側に引くようにしてゆっくり引き出してから、貼り付けます。

貼り付け時に空気が入った場合は、一度剥がしてから貼り付け直してください。

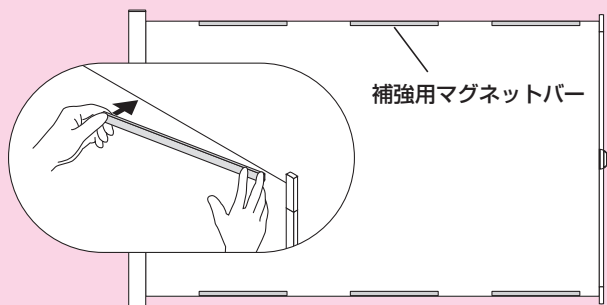
パネル貼り付け時に、端部がカールして浮くことがあります。カールした箇所を上から手で軽く押し付けると、しっかりと貼り付けることができます。巻きぐせが強く貼りつかない場合でも、しばらく貼ったまま放置しておくと貼りつきます。

※カール：スクリーンの巻きぐせ



ご注意

パネルに巻き癖が残り押さえバーが浮き上がることがあります。このときは、補強用マグネットバー（付属品：6本）をパネルの上辺と下辺に貼り付けてください。補強用マグネットバーは磁力でパネルに貼り付きます。この貼り付けるとき指を挟まないようにご注意ください。



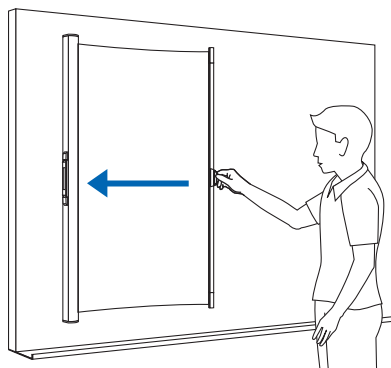
パネルの取り外し

1. パネルを収納する

中央のつまみをしっかり握り、スクリーンをホワイトボード板面から浮かせながらケースにゆっくり収納します。

スクリーンがケースに完全に収納されるまで、手を離さないでください。

安全フックをホワイトボードから取り外してください。

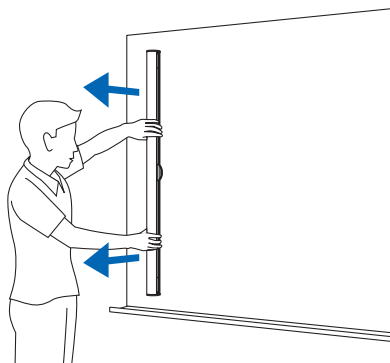


2. ケースを取り外す

ケースを両手でしっかりつかみ、手前へ引いてホワイトボード板面から外します。

ご注意

取り外すとき、不用意に手を離すとケースが落下しけがの原因となります。



ソフトウェアのインストール

インストールの前に

●動作環境

項目	内容
OS	Windows 8 (64bit)、Windows 7 (32bit/64bit)、Windows Vista (32bit/64bit) Windows XP (SP3 以上、32bit バージョン)
Internet Explorer	Ver.6.0 以上
PC	上記 OS が動作するブリインストール機
CPU	1GHz 以上のプロセッサ
インタフェース	BLUETOOTH 2.0 準拠 クラス 2
メモリ	Windows 8 (64bit) /Windows 7:1GB(32bit)/2GB(64bit) 以上 Windows Vista/Windows XP: 512 MB 以上
ハードディスク	200 MB 以上の空き容量
表示	1024 × 768 High Color 以上 推奨：画面の色 最高 (32bit)
周辺機器	Bluetooth アダプタ、CD-ROM ドライブ、標準の USB ポート
対応 Bluetooth スタック	Microsoft® Bluetooth® スタック Broadcom® Widcomm® Bluetooth® software スタック Toshiba Bluetooth® スタック BlueSoleil Bluetooth® スタック

ご注意

- ・本動作環境で、すべての動作を保証するものではありません。
- ・Macintosh には対応していません。
- ・Bluetooth が内蔵されていないパソコンの場合は Bluetooth USB アダプタを接続するための空きポートが必要です。

●付属のソフトウェアについて

本製品には下記のソフトウェアを付属しています。詳細は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

UPICユーティリティ

デジタルペンでパソコンのマウス操作やバーチャルレーザーポインターによるプレゼンテーションを行えます。また、位置合わせや、別売品のUPIC Notepadのコマンドエリアに機能を割り当てることができます。

UPIC Touch&Draw

デジタルペンでパネル上に、手書きで文字を書いたり、画像や図形を挿入できる描画ソフトウェアです。UPICユーティリティと組み合わせて使用します。

Office印刷アドイン

別売品のUPIC Notepadで使用するソフトウェアです。

マイクロソフトOfficeのアドインでドットパターンシートに挟んで使用する資料の印刷に使用します。

対応Office：Office2003/2007/2010 (32bitのみ)

対応Officeアプリケーション：PowerPoint

●ソフトウェアの更新について

当社ホームページをご参照ください。

付属ソフトウェアのインストール

付属 CD-ROM のメニューから「ソフトウェアのインストール」を選択すると UPIC ソフトウェアがインストールされます。

Microsoft Office アドインをインストールする場合は付属 CD-ROM のメニューから「Microsoft Office アドインのインストール」を選択してください。

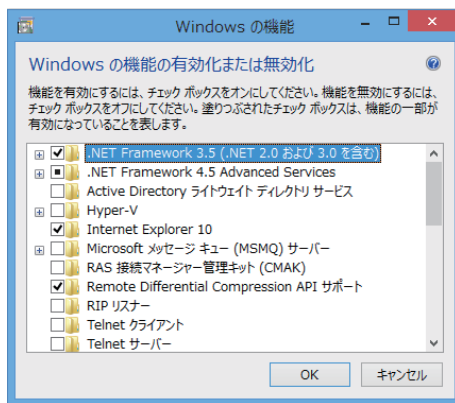
インストールの前のご確認

1. 使用するパソコンが動作条件を満たしているか確認してください。
2. インストールの際は、「コンピュータの管理者」の権限（アカウント）でインストールしてください。
3. 実行中の他のアプリケーションを全て終了してください。
4. UPIC ソフトウェアをお使いいただくには、Microsoft .NET Framework 2.0 の機能が必要となります。Windows 8 の場合は、コンピュータ上にこの機能がインストールされていないか無効になっていることを検知すると自動的にダイアログを表示してお知らせしますので、下記の要領でこの機能をインストールして機能の有効化を行ってください。

● .NET Framework 3.5(.NET 2.0およびおよび3.0を含む)有効化の手順

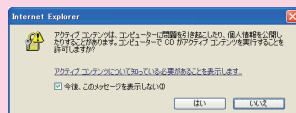
※本作業を行う際は、インターネット接続環境が必要です。

1. コントロールパネル→プログラムと機能→「Windowsの機能の有効化または無効化」を選択し、Windowsの機能の有効化または無効化のチェックボックスにチェックを入れます。
2. 画面表示に従い、Windows Updateから必要なファイルをダウンロードして、インストールを完了させます。
3. パソコンを再起動してからUPICソフトウェアのインストールを開始してください。



インストール時のご注意

- ・ 使用しているパソコンの環境により、「アクティブコンテンツの実行を許可しますか？」の確認画面が表示された場合は、[はい]を選択して、次に進んでください。
注) セキュリティの警告が表示される場合がありますが、これも[実行]を選択して次の操作に進んでください。



次ページに続く

- ・ Microsoft Windows XP を使用しているパソコンで初めて付属の CD-ROM をインストールする際、下記のメッセージが表示される場合があります。



必ず [はい (Y)] を選択して「Microsoft® .NET 2.0 Framework」をインストールしてください。インストールには時間がかかります (約 10 分程度)。

[いいえ (N)] を選択した場合、正しくインストールされない事があります。

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。

自動的にメニュー画面が表示されます。

自動で表示されない場合は、CD-ROMを開き「autorun.exe」をダブルクリックしてください。

2 「ソフトウェアのインストール」をクリックする。

インストーラが立ち上がります。



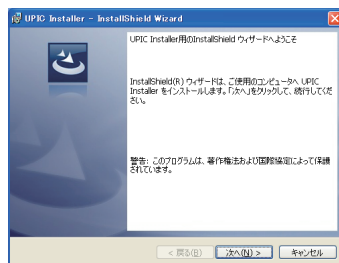
3 インストーラの指示に従ってインストールを行います。

「UPIC ユーティリティ」と「UPIC Touch&Draw」が同時にインストールされます。

- ・ インストール時に [モード] を選択する場合は、ご使用になる機器を指定してください。
- ・ 通常は「UPIC のみ」を選択してください。後から変更することもできます。詳細は 26 ページをご覧ください。

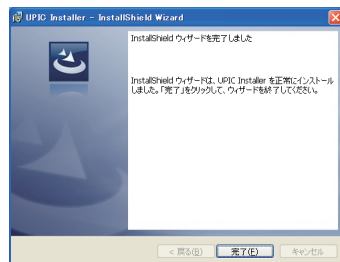
お知らせ

※ Windows Vista、Windows 7、Windows 8 の場合はユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。Windows Vista は「許可 (A)」、Windows 7/Windows 8 は「はい (Y)」を選択してインストールを続けてください。



4 「完了」をクリックします。

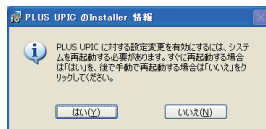
「インストーラ情報ダイアログ」が表示されます。



「はい (Y)」をクリックし、パソコンを再起動してください。

これで、インストールが終わりました。

続けて、デジタルペンとパソコンとのペアリング操作を行ってください。(20 ページ参照)



お知らせ

●Windows 7/Windows 8 の UPIC ユーティリティのアイコン表示 について

UPICユーティリティのアイコンを「通知領域に表示」に設定したとき  アイコンが表示される場合があります。

 をタスクバーに表示させるには次の様に行います。

1.  アイコンをクリックします。
ウインドウが表示されます。
2.  アイコンをタスクバーにドラッグします。



付属ソフトウェアのアンインストール

1 【スタート】 → 【コントロールパネル】 をクリックするとコントロールパネル画面が表示されます。

- ・ デジタルペンにキャップをして電源が切れていることを確認してください。
- ・ UPIC ソフトウェアが終了していることを確認してください。

2 「プログラムのアンインストール」 をクリックします。

※ Windows XP は「プログラムの追加と削除」のアイコンが表示されます。

3 「プログラムのアンインストールまたは変更」 画面が表示されます。

※ Windows XP は「プログラムの追加と削除」のアイコンが表示されます。

4 一覧表示の中から削除したい項目を選択します。

※ Microsoft Office アドインは下記の項目を個別にアンインストールしてください。

プログラムの種類	名 前
UPICソフトウェア (UPICユーティリティ/UPIC Touch&Draw)	PLUS UPIC
印刷アドインPowerPoint 2003	PLUS UPIC Print Addin for PowerPoint 2003
印刷アドインPowerPoint 2007/2010	PLUS UPIC Print Addin for PowerPoint 2007/2010

5 Windows Vista の場合は【アンインストール】*をクリックします。

Windows XP のときは【削除】をクリックします。

6 画面の指示にしたがって操作を進めます。

お知らせ

※ Windows Vista、Windows 7 の場合はアンインストーラを起動する度にユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。Windows Vista は「許可 (A)」Windows 7 は「はい (Y)」を選択してアンインストールを続けてください。

デジタルペンとパソコンとのペアリング

デジタルペンはBluetoothデバイス（装置）です。パソコンがデジタルペンを認識しないと相互の通信ができません。

ここでは、Windows 搭載の Bluetooth スタックを使ったペアリング*を説明します。

*デジタルペンとパソコンを無線通信で接続する操作がペアリングです。説明書では接続と呼ぶこともあります。

ご注意

- ・複数の Bluetooth デバイスを使用した場合、動作が不安定になることがあります。
- ・Bluetooth 内蔵のパソコンを使用する場合は、市販の Bluetooth アダプタを使用しないでください。使用する際は、内蔵 Bluetooth を停止させてください。停止方法はパソコンメーカーへお問い合わせください。
- ・デジタルペンは同時接続できますが、ご使用の環境（パソコン / 電波状況等）により操作できない場合があります。

パソコンに Bluetooth デバイスが内蔵されていない場合は、市販の Bluetooth USB アダプタをお使いください。なお、アダプタ付属のドライバ・ユーティリティなどはインストールしないでください。

また、ペアリングはお買い求めの Bluetooth USB アダプタの取扱説明書をご覧ください。このとき、デジタルペンのパスコード（またはペアリングコード）は、「0000」を入力してください。

お知らせ

デジタルペンと接続可能な Bluetooth USB アダプタについては弊社ホームページをご覧ください。

なお、HID（Human Interface Device）のプロファイルをサポートしている Bluetooth USB アダプタをお使いください。

Windows 8 での登録

Modern UI（タッチ操作）とデスクトップで共通の操作です。

ここでは、指だけで操作する場合で説明します。マウスでも操作可能です。

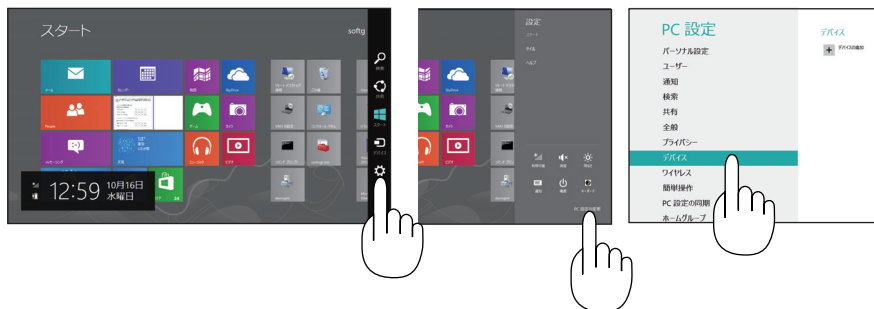
準備: Bluetooth(パソコン内蔵または市販のUSBアダプタ)が機能する状態にします。

1 画面の右端からスワイプしてチャーム（メニュー）を表示する。

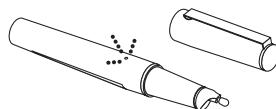


次ページに続く

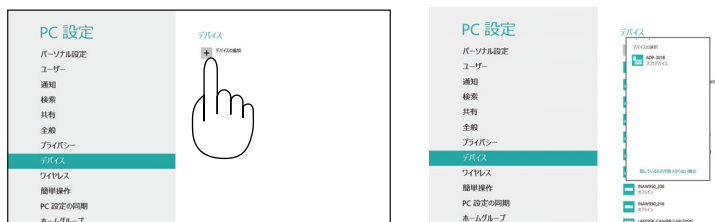
2 [設定]→[PC 設定の変更]→[デバイス]の順にタップする。



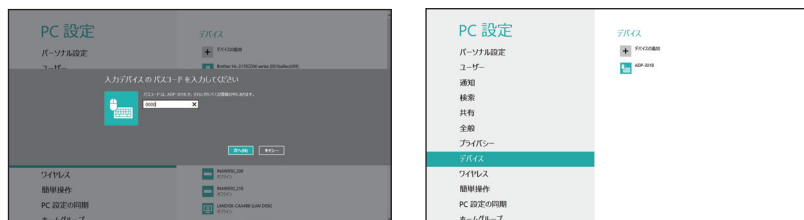
3 デジタルペンのキャップを外す。 デジタルペンの電源が入り、インジケータが点滅します。



4 [デバイスの追加] をタップする。 検索を開始し、「ADP-301B」を検出するとパスコード入力画面を表示します。



5 パスコード「0000」を入力してから、 「次へ(N)」をタップする。



6 デジタルペンにキャップを付ける デジタルペンの電源が切れます。

複数本のデジタルペンを登録する場合はこの手順を繰り返します。なお、このときのパスコードは、「0000」を入力してください。

これで、デジタルペンのキャップを外すと自動でパソコンと接続し、ペン入力待ち状態になります。

Windows Vista、Windows 7 での登録

Windows 7 の Microsoft スタックの画面で説明します。使用するスタックによって画面異なります。

- 準備:** 1. Bluetooth(パソコン内蔵または市販のUSBアダプタ)が機能する状態にします。
2. デジタルペンのキャップを外します。電源が入りインジケータが点滅します。

ご注意

Windows 7 のパソコンに Bluetooth USB アダプタを接続する場合は、弊社推奨の Bluetooth USB アダプタ (Windows®7 対応品) をご使用ください。

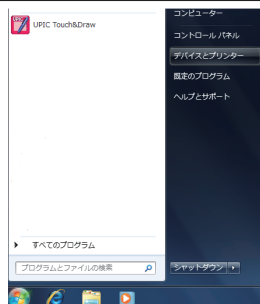
1 「スタート」→「デバイスとプリンター」をクリックする。

デバイスとプリンター画面を表示します。

Vista の場合

「スタート」→「コントロールパネル」をクリックしてコントロールパネルを開き、「ハードウェアとサウンド」をクリックする。

「Bluetooth デバイス」画面を表示します。



2 「デバイスの追加」をクリックする。

デバイスの追加画面を表示します。

Vista の場合

「Bluetooth デバイス」をクリックし、画面の「追加 (D)」をクリックします。

「Bluetooth デバイスの追加」画面を表示します。



3 「ADP-301B」をクリックし、[次へ(N)]> ボタンをクリックする。

次の画面に変わります。

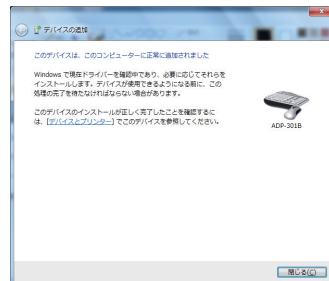


次ページに続く

-
- 4** ペ어링コード「0000」を入力してから、[次へ(N)>] ボタンをクリックする。
次の画面に変わります。



- 5** [閉じる(C)] ボタンをクリックする。



-
- 6** デジタルペンにキャップを付ける。
デジタルペンの電源が切れます。

複数本のデジタルペンを登録する場合はこの手順を繰り返します。なお、このときのペ어링コードは、「0000」を入力してください。

これで、デジタルペンのキャップを外すと自動でパソコンと接続し、ペン入力待ち状態になります。

プロジェクタ投影画面の位置調整

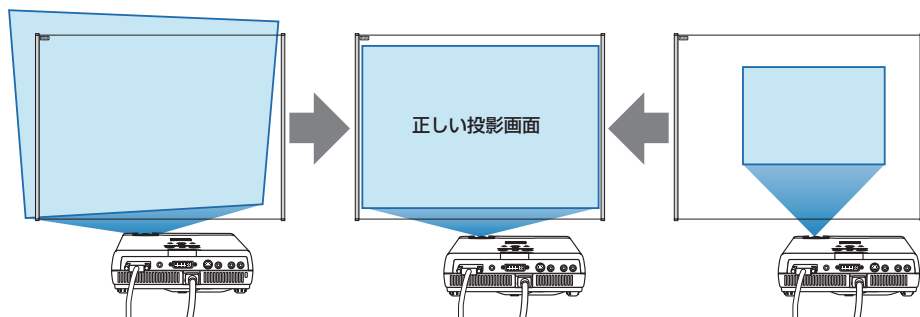
1. パソコンとプロジェクタとを接続しパソコン画面をパネルに投射してください。

投射方法はプロジェクタの取扱説明書をご覧ください。

2. プロジェクタの投影画面の位置や大きさ、画面のひずみを調整する。

パネルに収まる位置に設置合わせし、画面が歪んでいる場合はプロジェクタの台形補正機能（垂直／水平）を使って正しく調整してください。

- ・UPIC ソフトウェアにはパネルと投影画面との位置合わせ機能があります。投影画面が歪んでいると正しく位置合わせを行うことができません。



デジタルペンのマウス動作

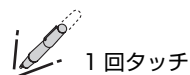
カーソルの移動

デジタルペンを少し浮かせて移動すると、パソコン画面上のカーソルが移動します。



クリック

デジタルペンを1回タッチします。



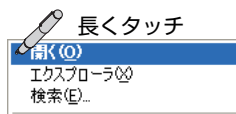
ダブルクリック

デジタルペンを2回連続でタッチします。



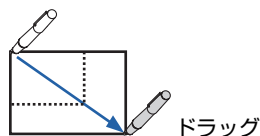
右クリック

デジタルペンを長押し（右クリックメニューを表示するまで）します。



ドラッグ

デジタルペンのペン先をタッチしたまま、ペンを移動します。



UPIC ユーティリティの使い方

ポップアップメニューを表示する

- 1 UPIC ユーティリティを起動する。**
パソコン画面タスクトレイのUPIC ユーティリティ
 アイコンをクリックするとポップアップメニュー
を表示します。



表示していない場合は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [UPIC] → [UPIC ユーティリティ] をマウスでクリックすると表示（起動）します。

Windows 7/Windows 8をお使いの方でUPICユーティリティのアイコンがタスクトレイに表示していない場合は、18ページのお知らせ「Windows 7/Windows 8のUPICユーティリティのアイコン表示について」をご覧ください。

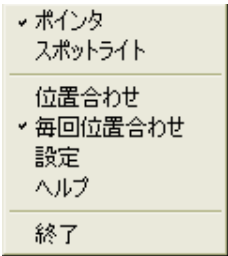
※乾電池の残量を、UPIC ユーティリティのアイコンで表示します。

- ・  電池残量低下
- ・  電池残量なし

お知らせ

ご使用中にデジタルペンのスイッチを指で押したりすると、電池残量の警告信号を誤検出することがあります。

- 2 目的の項目をクリックする。**
メニューの中から目的の項目を選択して設定変更および動作を指定します。



▼ ポインタ
スポットライト
位置合わせ
▼ 毎回位置合わせ
設定
ヘルプ
終了

ポップアップメニュー各部の名称とはたらき

ポインタ

クリックするとチェックが入り、バーチャルレーザポインタ（VLP）※を表示します。終了するにはもう一度ポップアップメニューを表示させ、クリックしてチェックを外します。

※ 設定画面のタブにはバーチャルレーザポインタを VLP と略して表記しています。

- ・ ドラッグするとポインタが移動し、タッチアップするとポインタは消えます。

- ・ ポインタの形状や種類の選択は [設定] → [VLP] タブ → [ポインタ]で行います。

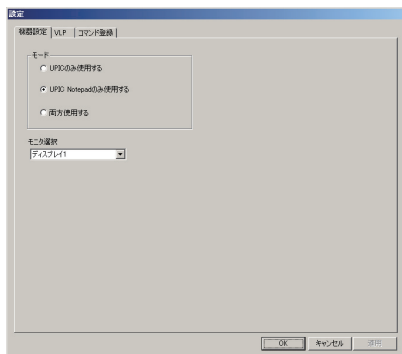
スポットライト クリックするとチェックが入り、スポットライトを表示します。終了するにはもう一度ポップアップメニューを表示させ、クリックしてチェックを外します。

- ・ドラッグするとスポットライトの位置が移動し、タッチアップするとスポットライトは消えます。
- ・スポットライトの形状や大きさなどの選択は [設定] → [VLP] タブ → [スポットライト] で行います。

位置合わせ／キャンセル クリックすると、位置合わせパターンを表示します。位置合わせの方法は 28 ページをご覧ください。

毎回位置合わせ クリックするとチェックが入り、デジタルペンの接続を検出すると位置合わせパターンを表示します。(初期設定：オン)

設定 設定画面を開きます。機器設定、VLP、コマンド登録のタブをクリックすると目的の画面に変わります。機器設定で「UPIC のみを使用する」を選んだときは「コマンド登録」は表示されません。



【機器設定画面】

モード： どれか 1 つが選択できます。クリックするとラジオボタンにチェック●が入ります。

「UPIC のみを使用する」… 本製品（M モデルまたは MC モデル）のみ使用する場合に選択します。

「UPIC Notepad のみ使用する」…別売の UPIC Notepad のみ使用する場合に選択します。

「両方使用する」…………… 本製品と別売の UPIC Notepad を同時に使用する場合に選択します。

モニタ選択： プロジェクトまたはディスプレイに接続されているモニタ番号の選択画面を表示します。初期設定は「ディスプレイ 1」で検索します。

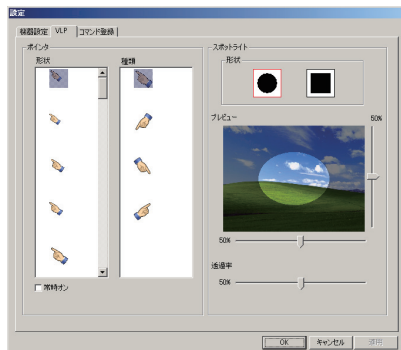
OKボタン： 設定メニューを閉じ、変更内容を保存します。

キャンセルボタン： 変更内容を保存しないで設定メニューを閉じます。

適用ボタン： 設定内容を変更したとき選択できます。設定メニューを開いたまま、変更内容を保存します。

【VLP画面】

VLP（バーチャルレーザーポインタ）にはポインタとスポットライトの設定があります。



ポインタの設定

形状：ポインタの形状を選択します。

種類：ポインタの種類を選択します。

常時オン：描画エリアからデジタルペンを離れたときの表示設定です。

チェックを入れる（オン）…ポインタを表示します。

チェックを外す（オフ）…ポインタは消えます。（初期設定）

スポットライトの設定

形状：スポットライトの形状を選択します。（初期設定：丸）

プレビュー：選択・設定状態を表示する画面です。幅と高さを確認しながら調整します。

透過率：スポットライトの周囲の透過率（どのぐらい見えるようにするか）を調整します。

【コマンド登録画面】

別売のUPIC Notepad使用時に使います。あらかじめコマンドを登録しておくでワンタッチで登録内容の操作が行えます。UPIC Notepadの取扱説明書をご覧ください。

ヘルプ

UPIC ユーティリティのヘルプを表示します。

終了

UPIC ユーティリティを終了します。

終了すると、デジタルペンは使用できなくなります。

プロジェクタとの位置合わせ

パネルの読み取り位置とパソコン画面の位置を合わせるのが位置合わせ調整です。位置がずれていると描いた文字などがずれて投影されます。

で注意

- ・ プロジェクタの投影画面はパネルに収まる位置に位置合わせしてください。(24 ページ参照)
- ・ プロジェクタ側の入力選択は接続しているパソコンを選択してください。

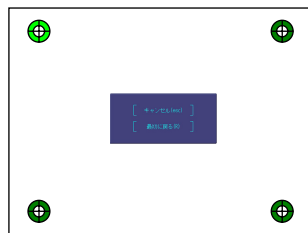
- ・ デジタルペンはキャップを外した状態で約7分間使用しないと、自動的にデジタルペンの電源が切れます。使用するときは、一度キャップをデジタルペンにはめてから、再びキャップを外してください。

1 デジタルペンのキャップを外します。

デジタルペンのインジケータが点滅しているときは、パソコンとのペアリング（接続）ができていません。(20 ページ参照)

パソコンがデジタルペンとの接続を検出するとワイヤレスインタラクティブパネルに位置合わせパターンが表示され、左上のパターンが点滅します。

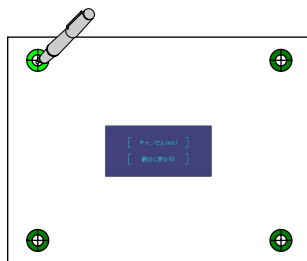
- ・ 表示されない場合は、UPIC ユーティリティのポップアップメニューの位置合わせを実行してください。



2 パソコンとプロジェクタの位置合わせをします。

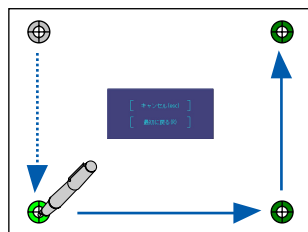
点滅しているパターンを順にデジタルペンを使用して十字パターンの中心に正しくタッチしてください。四隅のタッチが終了するとパターンが消えます。

- ・ タッチするごとに点滅が左上→左下→右下→右上の順に変わりタッチ済みのパターンはグレイになります。



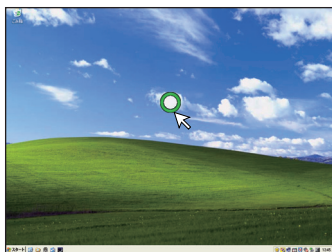
これで、位置合わせは終了しました。

- ・ やり直すするには、キーボードの [R] キーを押してください。点滅が先頭に戻ります。
- ・ キャンセルするには、キーボードの [Esc] キーを押してください。位置合わせを保存しないで終了します。

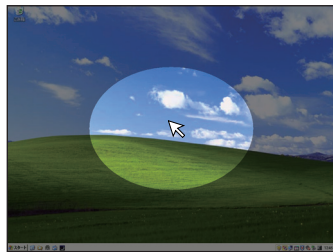


VLP を使う

パソコンの投影画面に VLP（バーチャルレーザーポインタ）表示して効果的なプレゼンテーションが行えます。VLP にはポインタとスポットライトがあり形状などが選択できます。（27 ページ参照）



【ポインタの例】

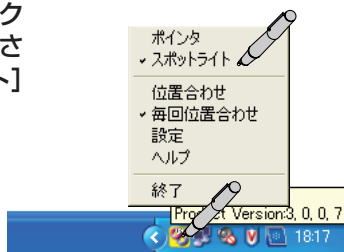


【スポットライトの例】

- 1 UPIC ユーティリティの  アイコンをクリックしてポップアップメニューを表示させ、[ポインタ] または [スポットライト] をクリックする。

ご注意

スポットライトを使用する場合は、[スタート] → [コントロールパネル] → [画面] → [設定] タブを確認して、画面の色 (C) を「最高 (32ビット)」に変更してください。
(Windows XP 使用時)



- 2 指したい所へドラッグする。

ドラッグするとポインタが移動します。
・ 矢印カーソルは追従しません。
タッチアップするとポインタが一時消えます。
タッチすると再び表示します。
・ 右図はポインタの例です。



- 3 ポインタの表示をやめる。

描画エリアの外をクリックまたはドラッグするとポインタ表示は終了します。
※ポインタ表示中に手順1の操作をし、ポップアップメニューを表示させて、[ポインタ] または [スポットライト] をクリックしてもポインタ表示は終了します。



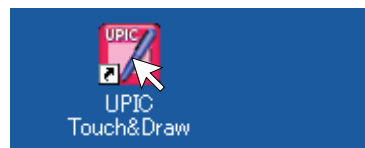
UPIC Touch&Draw の起動／終了

UPIC Touch&Draw の起動

1 UPIC Touch&Draw を起動します。

本ソフトの起動は 3 つの方法があります。

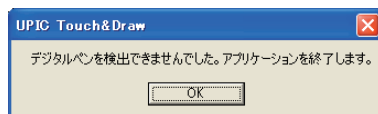
- ・ パソコンの [スタート] → [すべてのプログラム] → [UPIC] → [UPIC Touch&Draw] をクリックすると立ち上がります。
- ・ Windows デスクトップにある「本ソフト」の  アイコンをダブルクリックすると、UPIC Touch&Draw が立ち上がります。
- ・ 本ソフトの [保存] で保存したファイル（拡張子 .tad3）をダブルクリックすると、UPIC Touch&Draw が立ち上がります。



お知らせ

- ・ デジタルペンとの接続ができない場合は「デジタルペンを検出できませんでした。アプリケーションを終了します。」のメッセージ画面を表示します。

[OK] をクリックしてメッセージを閉じます。
デジタルペンを接続してから、もう一度 UPIC Touch&Draw を起動してください。
20 ページ「デジタルペンとパソコンとのペアリング」をご覧ください。



UPIC Touch&Draw の各部の名称

起動するとツールバーを表示します。ツールバーの詳しい使い方やUPIC Touch&Drawの各機能の選択や設定は、UPIC Touch&Drawのヘルプをご覧ください。



【横配置のツールバー】

配置

クリックすることによりツールバーを横配置・縦配置に切り替えます。

移動

好みの位置へドラッグして移動します。

※「マウス」「ペン」「フェルトペン」「マーカー」「消しゴム」「図形」「オブジェクト選択」は、いずれか1つが選択できます。複数の選択はできません。この7つの機能を入力モードと呼びます。

マウス

入力モードをマウスモードに切り替えます。
パネルに投影されているパソコン画面の操作が行えます。
・マウスモードのときは、ツールバーで選択できないボタンがあります。
・Windows 操作は「マウス」のときのみ操作できます。
・デジタルペンによるマウス動作は 24 ページをご覧ください。

ペン

入力モードを「ペン」に切り替えます。
ペンの太さは「サイズ設定」、ペンの色は「色設定」で行います。

フェルトペン

入力モードを「フェルトペン」に切り替えます。
フェルトペンの太さは「サイズ設定」、フェルトペンの色は「色設定」で行います。

マーカー

入力モードを「マーカー」に切り替えます。
マーカーの太さは「サイズ設定」、マーカーの色は「色設定」で行います。

消しゴム

入力モードを「消しゴム」に切り替えます。
・一部分を消す場合に使います。デジタルペンで描いた文字や線をドラッグしていくと消えます。オブジェクト単位で消去する場合は「オブジェクト編集」の「削除」を使います。
・消しゴムの太さは「サイズ設定」で行います。
・図形と画像は消すことができません。

図形

「図形メニュー」画面を表示します。
目的の図形アイコンをクリックし、デジタルペンをドラッグして図形を描きます。
・図形の色は「色設定」、線の太さは「サイズ設定」で行います。
・「図形メニュー」画面を閉じるには、ツールバーの「図形」をクリックします。

オブジェクト選択

入力モードを「オブジェクト選択」に切り替えます。
オブジェクトをクリックして選択し移動、拡大／縮小、回転（図のみ）などを行います。



サイズ設定

「サイズ設定メニュー」画面を表示します。現在の入力モード（ペン・フェルトペン・マーカー・消しゴム・図形）の太さの選択です。



色設定

「色設定メニュー」画面を表示します。現在の入力モード（ペン・フェルトペン・マーカー・図形）の色選択です。



元に戻す (Undo)

描画または編集した内容を直前の操作から順に最大 100 回まで戻します。



やり直し (Redo)

「元に戻す」で戻した操作を順に再び実行します。



消去

「消去メニュー」画面を表示します。消去後は閉じます。

※キャンセルする場合は、メニュー以外のところをクリックしてください。「消去メニュー」が閉じます。

手書き線クリア：デジタルペンで描いた文字・線がクリアされます。

すべてクリア：図の挿入で取り込んだ画像も含めて全てクリアされます。



表示モード

「表示モード」をクリックするごとに「ホワイトスクリーン」「透明スクリーン」が切り替わります。

「透明スクリーン」モード時：背景にパソコン画面が表示されます。他のアプリケーションを表示して、デジタルペンで追記することができます。

「ホワイトスクリーン」モード時：背景が罫線の入った白画面になります。



図の挿入

「図の挿入メニュー」画面を表示します。画像ファイルもしくは、カメラデバイスから画像の挿入を行うことができます。



Windows の「ファイルを開く」画面を表示します。挿入できる画像は JPEG、BMP、PNG、TIFF、GIF、WMF、UGM 形式（専用の素材ファイル）が挿入できます。（36 ページ参照）



「カメラ画像の取り込み」画面を表示します。UVC（USB Video Class V1.0）に対応したカメラデバイスを使用することができます。

※描画エリアより画像が大きい場合は、自動で縦横比を維持したまま縮小します。



背景の編集

背景に画像を入れたり、移動・拡大 / 縮小・回転ができます。

背景は、表示モードがホワイトスクリーンの場合のみ、表示されます。



ズーム

描画エリアの指定範囲を拡大表示します。

拡大したい範囲をドラッグで指定します。



右クリック

「右クリック」をクリックすると Windows のマウスの右クリックの動作に変わります。



開く

Windows の「ファイルを開く」画面を表示します。保存している本ソフトで作成したファイル（.tad3）を開きます。

※ TAD（.tad3）以外で保存した画像ファイルは開けません。



保存

Windows の「名前を付けて保存」画面を表示します。描画エリアのデータを保存します。(37 ページ参照)

ファイルの種類は「.jpg (JPEG 形式)」「.bmp (BMP 形式)」「.png (PNG 形式)」「.tif (TIFF 形式)」「.tad3 (TAD 形式)」が選択できます。ファイル名は「製品名+日付+連番.xxx」を自動入力されます (xxx はファイル形式の拡張子)。

※ .tad3 (TAD 形式) は [開く] で開いて本ソフトで編集ができます。表示モード [ホワイトスクリーン] の時のみ選択できます。

※ 「.tad」を本ソフトで保存すると、「.tad3」に変換されますので、旧バージョンのソフトウェアでは開けません。

※ 「.jpg」「.bmp」「.png」「.tif」は画像データとして他のアプリケーションに取り込みが可能です。



印刷

Windows の「印刷」画面を開きます。

印刷画面で必要項目を選択します。Windows の説明書をご覧ください。[表示モード] が透明スクリーンの場合は Windows の画面背景と、描画エリアのデータを合成して印刷します。

ホワイトスクリーンの場合は描画エリアのデータを印刷します。



ヘルプ

ヘルプを表示します。



最小化

ツールバーを最小化します。タスクバーのアイコンをクリックすると元の状態で表示されます。



閉じる

UPIC Touch&Draw を終了し、「終了確認」画面を表示します。(34 ページ参照)

UPIC Touch&Draw の終了

1 UPIC Touch&Draw 画面のツールバーの [閉じる] をクリックします。

パネルの投影画面で操作する場合は、ツールバーの  [閉じる] をクリックしてください。



2 UPIC Touch&Draw を終了し、「終了確認」画面を表示します。

未保存データがない場合とある場合で画面の表示が異なります。

未保存データがない場合：

[はい] UPIC Touch&Draw を終了します。

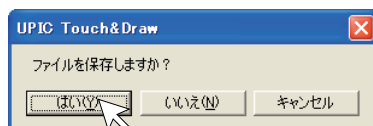
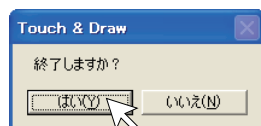
[いいえ] 終了をキャンセルします。

未保存データがある場合：

[はい] Windows の「名前を付けて保存」画面を表示します。保存終了後に UPIC Touch&Draw を終了します。

[いいえ] 保存しないで UPIC Touch&Draw を終了します。

[キャンセル] 終了をキャンセルします。



3 デジタルペンにキャップをします。

UPIC Touch&Draw 基本の使い方

UPIC Touch&Draw の基本的な使い方を説明しています。詳しい内容はツールバーの  ヘルプをクリックしてください。

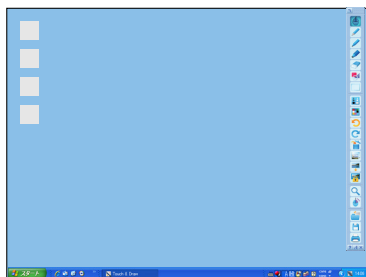
基本の使い方は、位置合わせが終り、UPIC Touch&Draw が立ち上がっている状態からの説明です。本ソフトをまだ立ち上げていない場合は 30 ページ「UPIC Touch&Draw の起動／終了」をご覧ください。

例：表示を透明クリーンにしてプレゼンテーションを行います。
操作はワイヤレスインタラクティブパネルに投影されている画面で行います。

1 ツールバーの「表示モード」を選択する。

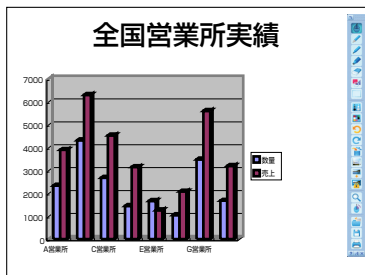
本ソフトを立ち上げたときの表示モードは  [透明スクリーン] です。

[ホワイトスクリーン] で使用する場合は、[表示モード] をクリックすると  [ホワイトスクリーン] に変わります。



2 Windows を操作してプレゼンテーション資料を画面一杯に表示する。

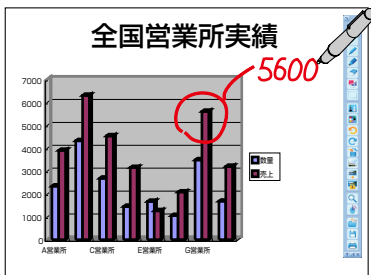
ツールバーの  [マウス] をクリックして目的のプレゼンテーションファイルを開きます。



3 デジタルペンで文字や図形を描きます。

ツールバーの  [マーカー] をクリックし、デジタルペンで文字を書きます。

マーカーの色を変えるときは [色設定]、線の太さを変えるときは [サイズ設定] をクリックして選択します。

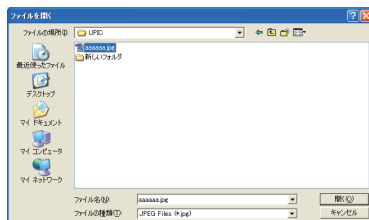


4 説明用の画像を挿入します。

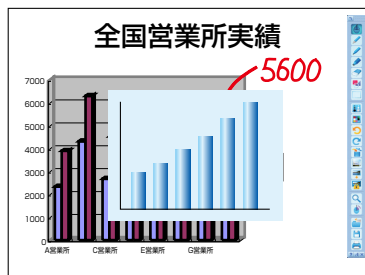
この画像はあらかじめ準備しています。

1) ツールバーの  [図の挿入] をクリックして、「図の挿入メニュー」画面の「ファイルを開く」アイコンをクリックすると「ファイルを開く」画面を表示します。

2) 目的のファイルを選択し [開く] をクリックすると「ファイルを開く」画面を閉じて、描画エリアの中央に画像が配置されます。



3) ツールバーの  [オブジェクト選択] をクリックした後、画像をクリックするとフレームを表示します。フレーム内をドラッグして目的的位置まで移動します。



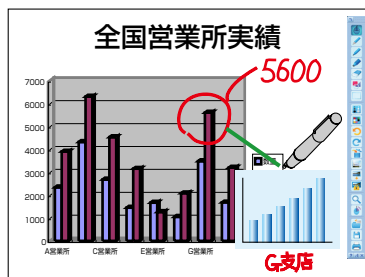
5 線を引きます

1) ツールバーの  [図形] をクリックして、「図形挿入メニュー」画面の  [直線] アイコンをクリックします。

2) このままドラッグすると書き始めの位置を起点とした直線を引きます。

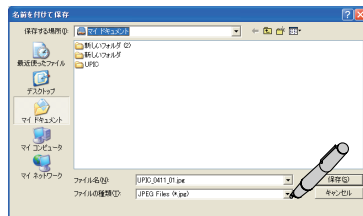
・ 線の太さを変える場合は、[サイズ設定] で 線の太さ (ピクセル) を選択してください。

3) 続いて文字を書く場合は、ツールバーの  [マーカー] をクリックして、文字を書きます。



6 描画エリアのデータを保存する

- 1) ツールバーの  [保存] をクリックすると「名前を付けて保存」画面を表示します。
- 2) 「保存する場所」を選択し、ファイルの種類を選択します。
 - ・.tad3 (TAD 形式) は、ホワイトスクリーンのみ選択でき、[開く] で開いて本ソフトで描画エリアのデータの編集ができます (TAD は本ソフト独自のファイル形式です)。
 - ・「.jpg」「.bmp」「.png」「.tif」は描画エリアと Windows 画面を合成した画像になります。画像データとして他のアプリケーションに取り込みが可能です。
 - ・ファイル名は「製品名+日付+連番.xxx」を自動入力します (xxx はファイル形式の拡張子)。
本ソフト終了後パソコンで分かりやすいファイル名に変更することをお勧めします。
- 3) [保存] をクリックします。

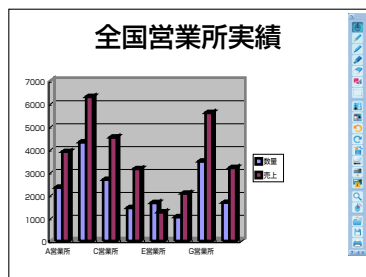
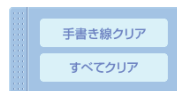


7 続けて新規のプレゼンテーションを行う場合は、描画エリアの画面を消去します。

ツールバーの  [消去] をクリックし、「消去メニュー」画面で [すべてクリア] をクリックすると、全てのデータを消去します。

※取りやめる場合は、クリックする前に「消去メニュー」画面以外のところをクリックしてください。

続けるときは 1 ～ 6 の手順で操作を行います。



8 プレゼンテーションを終了する

34 ページ「UPIC Touch&Draw の終了」をご覧ください。

こんなときには

デジタルペン関係

状 態	ご確認ください
デジタルペンのインジケータが点灯 / 点滅しない	・ デジタルペンに乾電池は入っていますか？ ・ 乾電池が消耗していませんか？ ・ 乾電池の極性（+ と - の向き）間違えて入れていませんか？
デジタルペンのインジケータが 0.2 秒点灯 / 3 秒消灯	・ デバイス（装置）との接続、またはデジタルペンとのペアリングが完了していません。デジタルペンとパソコンとのペアリングを行ってください。
デジタルペンを認識しない（ペアリングができない）	・ 他のパソコンと既にペアリングを行っていませんか？ ・ Bluetooth USB アダプタ又は Bluetooth 内蔵のパソコン本体側の機能が停止していませんか？ ・ 乾電池が消耗していませんか？
デジタルペンを認識したが描画できない	・ パネル面垂直に対してデジタルペンを 45 度以上倒して使用していませんか？ ・ パネル表面に粘着テープ等を貼っていませんか？ ・ スタイラスが消耗していませんか？
複数本のデジタルペンで同時に書き込めない	・ 複数本の使用は、同時には描けません。他の人が書き終わってから書いてください。
デジタルペンの長押しでマウスの右クリック機能が動作しない	・ パソコンの「マウスのプロパティ」の「クリックロックをオンにする」が選択（チェック）されていませんか？ ※パソコンから [スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア]^{※)}の [マウス] にあります。 注)Windows Vista では [ハードウェアとサウンド] です。

パネル関係

状 態	ご確認ください
マーカーで描いたものが消えにくい	・ パネルに描いた文字等を長時間放置していませんか？ ・ 専用マーカー以外のマーカーを使用していませんか？ ・ シンナー、ベンジン等で拭いていませんか？
パネルの密着力が弱い	・ 水を含ませた布で、押えバー裏側のマグネット部および裏面（磁気層）のゴミや汚れを拭き取ってください。
パネルの巻き癖が残る	・ 補強用マグネットバー（付属品：Mタイプは4本、MCタイプは6本）をパネルの四隅に貼り付けてください。

仕様

M タイプ (マグネット型パネル) 仕様			
製品型名	UPIC-56M	UPIC-64M	UPIC-W72M
設置方式	マグネットシートタイプ		
外形寸法	1160W×11.3D×865H ^{*1}	1330W×11.3D×995H ^{*1}	1630W×11.3D×1070H ^{*1}
質量 (ペン、付属品除く)	約 1.6kg	約 2.1kg	約 2.8kg
MCタイプ (マグネット型パネル巻き上げ式) 仕様			
製品型名	UPIC-W72MC		
設置方式	マグネットシートタイプ		
外形寸法	1675W × 48D × 1052H		
質量 (ペン、付属品除く)	2.7kg		
共通仕様			
パネル			
サイズ (mm)	1130W × 845H	1300W × 975H	1600W × 1050H
	MC タイプ: 1600W × 970H		
読取方式	アノトペンによるアノトパターン読取方式 ^{*2*3}		
デジタルペン ^{*2*3}			
機種名 ^{*4}	ADP-301 (型式名: DP-301)		
電源	単 4 アルカリ電池 1 本 (1.5V)		
インターフェース	BLUETOOTH2.0 準拠 クラス 2 ^{*5}		
本体質量	約 40g(電池含む)		
動作時間	連続筆記時 約6時間、スタンバイ状態で約150時間 (キャップをはずした状態)		
使用条件			
温度	10℃～40℃		
湿度	30 ～ 85% (無結露状態)		
機能			
インタラクティブモード	ホワイトスクリーンモード、透明スクリーンモード、マウスモード、ファンクション (ペン色 (8 色) / フェルトペン色 (8 色) / マーカー色 (8 色) / 消しゴム/ペン、マーカー、消しゴムのサイズ切替/図形の挿入/ページ内容の削除/画面モード切替/印刷/ファイルの入出力)		
ホワイトボード	マーカー書込み		
付属ソフトウェア動作環境			
対応 OS	Windows XP (Service Pack 3 以上) /Windows Vista /Windows 7 /Windows 8 ^{*6}		
対応 PC 機種	上記 OS が動作するブリーインストール機		
CPU	1GHz 以上のプロセッサ ^{*6}		
メモリ	Windows XP/Vista : 512 MB 以上 Windows 7 (32bit) : 1GB 以上、Windows 7 (64bit) : 2GB 以上 Windows 8 (64bit) : 2GB 以上		
ハードディスク	200MB 以上の空き容量		
ディスプレイ解像度	1024 × 768 ピクセル以上、High Color 以上		
デバイス	Bluetooth アダプタ ^{*7} 、PC 標準の USB ポート、CD-ROM ドライブ		
対応 Bluetooth スタック	Microsoft [®] Bluetooth [®] スタック Broadcom's Widcomm [®] Bluetooth [®] software スタック Toshiba Bluetooth [®] スタック BlueSoleil Bluetooth [®] スタック		

※ 1: 最大突起部を含む。

※ 2: デジタルペンによる描画にはパソコンおよびプロジェクタが必要です。

※ 3: 動作原理等の詳細は <http://www.anoto.co.jp/> をご覧下さい。

※ 4: 機種は予告なく変更になることがあります。

※ 5: Bluetooth が内蔵されていないパソコンにデジタルペンを接続するには、別途 Bluetooth アダプタが必要です。

※ 6: 本動作環境で、すべての動作を保証するものではありません。

※ 7: Bluetooth USB アダプタは付属していません。

- デジタルペンは別売品により単体で購入いただけます。 詳細は、当社ホームページをご参照ください。但し、複数本のデジタルペンを同時に使用することはできません。

●テクニカルサポート

製品およびソフトウェア等の問題が解決できない場合は、「ビジョンカスタマーセンター」までお問い合わせください。

TEL ☎ 0120-944-086 FAX ☎ 0120-331-859

受付時間：月～金 9:00～12:00 13:00～17:30

(土・日・祝日、年末年始および当社指定の休日を除く)

サポートについて

質問、要望、障害報告等の声に応えたり、各種の情報提供を行うのを一括してサポートと呼ぶこととし、弊社のサポートの範囲は、本ソフトウェアの機能、操作に限らせていただきます。

本ソフトウェアをご利用される上で生じる問題は、パソコン本体に起因するもの、OSに起因するもの、他のアプリケーションソフトウェアに起因するもの、その他周辺機器に起因するものなど多岐にわたります。よって弊社は、本ソフトウェアに起因する問題のみをサポートするものとします。また、本ソフトウェアは、ハードウェアやソフトウェアの技術的進歩により事前の予告なしにバージョンアップすることがあります。お客様は弊社が定める方法により、本ソフトウェアのバージョンアップ品を受取り、使用することができます。なお、バージョンアップは上記使用条件に同意されたお客様にのみに限られます。

※本ソフトウェアをホームページからダウンロード、またはCD-ROMからインストールしたときをもって、お客様は各条項に同意したものとみなされます。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合は、次の要領で修理させていただきます。お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは「ビジョンカスタマーセンター」にお申し出ください。なお、保証内容、使い方など不明な点につきましても、お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは「ビジョンカスタマーセンター」にお問い合わせください。

●無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された保証書（ご購入日より 1 年以内）が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲で、無料修理させていただきます。

※詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また、運賃諸掛りは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. 弊社または取扱店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱い上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛け、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、樟脳の入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生）により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは「ビジョンカスタマーセンター」にお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなる場合があります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手元に保管してください。
5. 修理のために輸送する場合は、購入時の外箱か同等の箱に入れてしっかり包装してください。

●修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造中止後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則としてお受けいたします。なお、部品保有期間が終了している場合は、お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは「ビジョンカスタマーセンター」にお問い合わせください。

本製品に関するお問い合わせ：ビジョンカスタマーセンター

TEL ☎ 0120-944-086 FAX ☎ 0120-331-859

※携帯電話・PHS からのご利用いただけます。

受付時間：月～金 9：00～12：00 13：00～17：30

（土・日・祝日、年末年始および当社指定の休日を除く）

PLUS Corporation

プラス株式会社

本製品に関するお問い合わせ
ビジョンカスタマーセンター

TEL ☎ 0120-944-086

FAX ☎ 0120-331-859

ISO 14001 認証取得